

## 第27期第3回理事会議事録

日時：1993年5月17日 17時30分～19時30分

場所：気象庁海洋気象部会議室

出席者：理事21名（浅井，竹内，岩崎，大西，小倉，木田，関口，中井，中村，新田，藤谷，松野，村上，菊池，白木，廣田，高谷，佐橋，高橋，小林，石島）  
監事1名（多田）

### 1. 第27期第7回常任理事会議事録の確認

一部修正のうえ承認。

### 2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…日本惑星科学会より他学会関連分野に関する将来計画等の資料提供の依頼。気象学会としては対応する文書はないむね回答する。  
春季大会総会の委任状集約状況を報告。

天気…5月号の内容及び6，7，8月号の予定を報告。

集誌…集誌への投稿論文数が漸減する傾向があり，特に大学関係理事には投稿の活性化に協力していただきたい。

講演企画…春季大会は338件の講演申し込みがあった。秋季大会は8月下旬にプログラム編成の予定。秋季大会のシンポジウムのテーマは「大気陸面過程と衛星リモートセンシング」

総合計画…理事選任に関する定款改正が総会で承認されれば，選挙についての細部を秋までに決定する。それを受けて選挙管理委員会を発足，今年末から来年始めにかけて立候補の受け付け，その後投票等のスケジュールを確認。次回常任理事会で10名程度の選挙の細部を検討する委員会を設ける。

教育と普及…夏季大学及び一般公開フォーラム（横浜）の準備状況を報告。

国際学術交流…応募者がもっと増えるよう，申請を奨励したい。

IAMAP…日本学術会議等15の共同主催学術研究団体の間で準備・運営に関する合意書の承認手続き完了。また，日本学術会議から800万円あまりの補助金がおりました。

パソコン通信…4月の着信件数311件。現在の登録数は180名。この4か月間で20名程度の増加。登録者の半数近くは非学会員である等の報告。

山本・正野論文賞…4月10日に一般募集を締め切った。今回は全理事にも候補者の推薦を依頼したが，推薦が非常に少なく残念。推薦理由書をもう少し簡略なものにすることも含め，小人数で決めてしまうことにならないための方策を検討中。

### 3. 会員の新規加入等について

個人6名の入会を承認。個人2名の退会の報告。

### 4. 総会提出議案について

各議題について担当理事から説明。役員選任に関する定款の一部改正については，選挙による理事候補と推薦による理事候補の関係，選挙と総会での承認の関係，地区選出理事と全国区選出理事の性格，等が議論された。地区選出理事が転勤等の理由で地区を離れた場合については，転勤先で理事活動を継続する現在の方式に加えて，新制度では転勤等を理由に理事を退任し，その後任を推薦理事候補で補充することも可能。この場合，実際の運用はケースバイケースで，当該理事と選出地区で協議すべき問題である等の議論がなされた。

定款の改正について出席理事による採決を行い，出席理事21名全員が賛成。定款の改正に必要な理事会の3分の2以上（18名以上）の賛成が得られたことを受け，総会での採決に掛けることとする。

### 5. 気象予報士技能検定制度について

この間の経緯を庶務担当理事から報告（第7回常任理事会議事録参照）。学会としての検討委員会を次回常任理事会で発足させることを承認。

### 6. 1994年度の大会について

春季大会については，担当予定の気象大学校から会場確保，学会員の数等の事情から単独開催が難しいとの意向が表明されており，これについて5月12日に関東地区連絡会がもたれ，1994年春季大会は気象庁観測部を主とし，気象大学校も共同で担当することが確認されたとの報告を受け，理事会としてこの結論を了承した。

秋季大会は九州支部の担当で開催することも確認された。

春・秋の大会に関連して，大会期間中に学会会員以外の一般聴衆も参加できる公開講演会的な催しを会わせて開催することの重要性が議論された。